
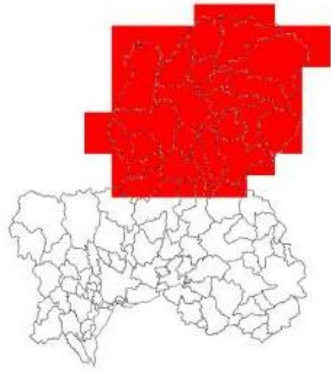


ベニバナヤマシャクヤク	<i>Paeonia obovata</i> Maxim.	情報不足
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		ボタン科
選定理由	岐阜県に生育するという情報があるが未確認。あれば極めて貴重である。	写真(高橋弘)
形態の特徴	茎は高さ30-50cm。葉は4枚が互生し、葉柄があり、下の3枚の葉は葉身は2回3出複葉、最上部の葉は単葉、下面は普通有毛で白色を帯びる。花は茎の先に1個つく。萼片普通3枚で緑色。花弁は4-6枚で淡紅色から紅色。雌蕊は2-4個、柱頭は長くて外側へ巻くように曲がる。雄蕊は多数。	
生態的特徴	落葉広葉樹林の下や林縁に生育する多年草。花期は5月下旬から6月中旬。	 
分布状況	朝鮮、中国北部、サハリンに分布し、日本では北海道から九州に分布する。岐阜県では県北にあるという情報がある。	
減少要因	森林伐採や開発による生育地の破壊、及び採取によって減少する恐れがある。	
保全対策	生育が確認された場所の保全と、採取の禁止。	
特記事項		
参考文献		※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。

文責:高橋弘